

わたしたちのまちにおける眺望景観の向上

彦根市において、景観に関連する彦根市景観計画（平成 19 年）や彦根市屋外広告物条例（平成 27 年）の運用をはじめ、一定の年数が経過しましたことから、その変化を眺望景観として写真でご紹介します。これまで、建築物や屋外広告物などの施設整備をとおして、関係者のご協力のもと形態意匠や色彩など周辺景観との調和を大切に考えていただいたことにより、良好なまちなみ景観の形成が進んでいます。今後におきましても、わたしたちのまち彦根の魅力さをさらに高めるため、このような景観を保全・育成する活動に継続して取り組み、後世に繋げていくことが大切となります。



平成 18 年（2006 年）



令和 5 年（2023 年）

彦根駅西口から彦根城方向の眺望です。駅前お城通り沿いでは、商業ビルなどの建築物の外壁や看板に落ち着いた色彩が使われています。また、街路樹や無電柱化により、うるおいのある通り景観が形成され、彦根城がよく見えます。



平成 26 年（2014 年）



令和 5 年（2023 年）

彦根城着見台から旧松原内湖方向の眺望です。景観に配慮した競技場を有する彦根総合スポーツ公園の整備が進んでいます。手前の名勝玄宮楽々園越しに、琵琶湖、磯山、佐和山、伊吹山の自然の景色が心地よく見えます。



令和 5 年（2023 年）



令和 5 年（2023 年）

平成 30 年（2018 年）

左の写真は、彦根城から荒神山方向の眺望です。旧城下町地域では、高さの突出した建物がなく、連続した勾配屋根や外観の色彩調和の維持により、歴史的風情と馴染む心地よい景観を形成しています。右側の写真は、中堀沿いのポケットパークからの眺望です。堀と石垣の背景に見える既存施設（鉄塔）の色彩を変更していただいたことにより、眺望景観の向上が図れています。